

第 5 回 JEAS 科学保安検定講習会 受講者アンケート集計

15 名参加者の集計です。

1. 本日の「講習会」の感想をお教えてください

- ☐ 大変ためになった 15 名
☐ あまりためにはならなかった 0 名
☐ その他 0 名

2. 本日の「講習会」の内容についてお教えてください

- ☐ 今まで知らなかったことがたくさんあった 14 名
☐ ほとんど知っていることだった 1 名 (前回受講者)
☐ その他 0 名

3. 「講習会」の時間について (1 つお選びください)

- ☐ ちょうど良かった 13 名
☐ 長すぎる 0 名
☐ 短すぎる 0 名
☐ その他 2 名

・一つ一つの説明をもう少し詳しくお聞きしたかったのですが、全体の時間に限りがあるので、仕方がないと思います。

・知識の再確認ができ、深く掘り下げた内容が学べた。

4. 講師の説明について (1 つお選びください)

- ☐ おおむね解りやすかった 15 名
☐ 説明が解りにくい講師がいた 0 名
☐ その他 0 名

5. 「テキスト」(PDF データ) について (1 つお選びください)

- ☐ おおむねまとまっていて解りやすかった 15 名
☐ 解りにくい部分があった 0 名

・事前にいただいた資料のうち「画像と文字の A I 利用について」などの P D F 資料に横文字が多く苦劳しました。

・大変わかりやすかったです。ありがとうございます。

・特になし。非常に学ぶが多く有意義な時間でした。

6. 「科学保安講習」の制度や学んだことを今後、社業やご自身の業務でどのように活かしていきたいですか。

・コンサル業務への接続。昇華。

・実際の販売活動に活かしていきたいと思います。

・継続の大切さ、保安との情報共有の大切さを実感しました。

・顔認証システムを導入する店舗が増えてほしい。

・店舗様をはじめとする顧客責任者様が保安業務の本当の費用対効果をご理解いただけるように、営業活動における一種の「説得力」としてお話ししていこうと考えます。

・顔認証システムと個人情報保護法との関係・留意点を万防の活動に活かしていきたい。

・顔認証を使った保安業務に関して、自らも調べ、今後どのように発展していくかも考え、今後の業務に活かしたいです。

・派遣先の店長などとの連携を意識していたが、もっと連携を強め、情報共有に努めたいと考えます。

・隊員のスキル向上に努め、サービスの質を高める。

・情報の共有を行い、意識を高めたい。

・製品開発及びお客様への提案に生かしてけるとと思います。

・A I (顔認証) を駆使し業務ができる保安員を育成指導し、新規契約先の拡大を目指す営業活動。

・私たちの顔認証サービスをお客様に展開したいと考えます。

・お客様に展開する際に、そもそも顔認証とは類似した人物の来店を早期に発見できることや、保安員が携わるメリットなどをお伝えしたいと思いました。

・もうすでにやっていたいておりますが、個人情報保護に関する法律上の Update があれば、勉強したいと思っています。

- ・顔認証を提供する立場として、最低限把握すべき法制度や市場動向が多々あったため継続キャッチアップしながら、お客様へ提案できるようにしたい。
- ・私服保安の指導・教育に役立てます。
- ・お客様からセルフレジの対応の依頼があった場合、参考にさせていただきます。

7. 今後、JEAS のテーマとして盛り込んで欲しいことや、ご意見がございましたら下記にご記入ください。

- ・今回のテーマにもありましたが、フルセルフレジの今後の動向について、引き続き継続して盛り込んでいただきたいと思います。
- ・実際の事案に対する考察や研究。
- ・今後 10 年から 20 年後の保安業務のビジネスのあり方など。
- ・ただ万引犯を捕まえるだけの「駆除業者」のような印象をどうやって「防犯の専門家」として認識していただくか。
- ・渋谷書店万引き対策共同プロジェクトのような取組みをもっと知りたいです。
- ・効果的な防犯カメラの設置位置などがわかると企業としても良いのでテーマとしてありではないかと思います。
- ・テストの難易度が高かった。
- ・システム毎の利用を実演・ロールプレイングなどをする機会に参加したい。ex)サスマタ講習のようなものをイメージしています。
- ・現在、科学保安警備として契約している店舗での捕捉やロス率の差異の実績などを知りたいです。
- ・実際に活用している End User の声、課題や意見など。

今回のテスト結果 平均 78 点、中央値 80 点 最高点 100 点、最低点 35 点でした
(参考) 第 4 回平均点 86 点、第 3 回平均点 86 点